

兵庫県福祉サービス第三者評価の結果

1 評価機関

名 称	株式会社 第三者評価
所 在 地	兵庫県尼崎市道意町7-1-3
評価実施期間	2009年8月20日 ~ 2010年2月13日 実地訪問調査日 2010年2月9日(火)
評価調査者	HF05-1-0098 吉山 浩 (リーダー) HF06-1-0019 山田 奈津美 (メンバー) HF05-1-0100 池上 裕子 (報告書査読)

契約日から
評価結果確定日

2 福祉サービス事業者 概要

事業所名称： 姫路保育園	種 別： 第2種社会福祉事業 児童福祉施設 保育園
代表者氏名： 黒石 芳子 園長	開設年： 昭和22年7月1日
経営主体： 社会福祉法人 夢工房	定 員： 120名
所 在 地：〒 670-0866 兵庫県姫路市野里堀留町10-18	
電話番号： 079(222)2529	FAX番号： 079(222)7171
E-mail： himeji@yumekoubou.or.jp	HPアドレス： http://www.yumekoubou.or.jp/hoiku

3 理念・方針等

<p>保育理念：</p> <p>子どもの最善の利益を考慮し、利用者主体を根幹に、行政、地域、保育園の緊密な連携を強化し、地域の子育て支援の核となる。</p> <p>保育方針：</p> <p>子ども一人ひとりが個性の進展、人格の尊重、人権の尊重を約束されながら、保育士に安心して心身を預託する。そしてその保障のもと、序子の内面を充実発揮し、生きる喜びを感じつつ、日々さまざまな自己体験を通して(生きる力)を身につけていく。</p> <p>地域の生活文化や伝承文化に慣れ親しみ、興味を持つ。</p> <p>地域の人々、心身に障がいや有する人、異年齢(0歳~高齢者)の人たちにかかわりを持ち、いきるための知恵を学びあう。</p>

4 特に力を入れて取り組んでいる点

設立63年めで、その伝統を生かし、昔ながらの保育を行い、時代の変遷に応じた地元姫路のニーズを取り入れ、職員一同、子供たちのために最善の保育サービスをご提供しております。

【 食育 】

給食・おやつは管理栄養士によるバランスの採れた献立となっており、すべて手作りであること。また、離乳・除去・代替食と個別対応をおこなっていること。また、毎月「食育の日」を設け“食”について子どもたちと一緒にクッキングなどを行い、取り組んでいます。

【 教育 】

月1回音楽指導・和太鼓指導・琴指導・手話教室、月3回体操教室があり、各専門の講師の方々に来てもらい、園で指導していただいています。

【 交流 】

老人ホーム訪問を行い、お年寄りの方々との交流を行っています。
年2回ほど近隣の老人会の方々とクッキングや伝承遊びなど一緒に楽しんでいます。
年3回ほど5歳児が小学校に登校させてもらい、交流の機会を作っています。
20歳会や小学校卒園児との仲良し会などを行い、園児との異年齢交流をしています。

5 . 利用者の状況に関する事項 (平成22年1月1日現在) 年齢構成

6ヶ月未満	6ヶ月～1歳3ヶ月未満	1歳3ヶ月～2歳未満	2歳児	3歳児
1名	2名	9名	23名	31名
4歳児	5歳児	6歳児	合計	
25名	20名	24名	135名	

6 . 職員配置の状況に関する事項 (平成22年1月1日現在)

	総数	園長	保育士	栄養士	調理員等
常勤	20名	1名	16名	2名	1名
非常勤	1名	0名	0名	0名	1名

7. ボランティアの受け入れ

平成 21 年度におけるボランティアの受け入れ人数（延べ人数） 1 人（内訳 学生 1 人）

ボランティアの業務 保育補助

8. 実習生の受け入れ

平成 21 年度における実習生の受け入れ人数（実数） 合計 9 人

保育士 8 人（内訳 大学 4 人、 短大 3 人、 専門学校 1 人）

その他 1 人（内訳 専門学校 1 人）

9. サービス利用者からの意見等の聴取について

定期的アンケートを取り、意見を聴取するとともに、ネコポスト（ご意見箱）を設置し、
随時意見を受け取るようにしている。

10. 評価結果

総評

特に評価の高い点

開園63年の歴史があり、祖母・母・子3代で園を利用している家庭もあるなど卒園生、地元住民、地域、小学校との交流が活発

園長から主任へ、主任から副主任へ、そして元気な若い保育士へ、昔ながらの保育を伝承、その厚意を次の世代へ受け継ぐ（ペイ・フォワード）の精神が根付いている

14の保育園を9つの市に展開する法人の保育サービスの質を高める核であり原点

今後、生かしてもらいたい点

評価基準は、PDCA（計画策定・実行・評価・見直し）のサイクルを回し継続的改善を求めています。上記の“A”の見直しの次は、次年度の“P”計画策定です。

この点を意識され、さらなる向上を目指される事を期待します。

第三者評価結果に対する事業者のコメント

今回、第三者評価を受審するにあたり、色んな資料等の準備、作成をしていく課程で職員全員が分担・協力し共通理解が出来た事は大変大きな収穫となりました。

評価していただく上で、今後の課題等も見つける事ができ、今後はその課題を改善し、社会福祉事業として、保育園という一路が次世代へ継がるよう、さらに向上し研鑽して参りたいと思います。

各評価項目に係る第三者評価結果（別紙1）

各評価項目に係る評価結果グラフ（別紙2）

評価細目の第三者評価結果

評価対象 福祉サービスの基本方針と組織

- 1 理念・基本方針

	第三者評価結果
- 1 -(1) 理念、基本方針を確立している。	
- 1 -(1)- 理念を明文化している。	a
- 1 -(1)- 理念に基づく基本方針を明文化している。	a
- 1 -(2) 理念や基本方針を周知している。	
- 1 -(2)- 理念や基本方針を職員及び利用者やその家族等に周知している。	a

特記事項

ホームページ・入園のしおり等に記載されています。
全職員が、自分のノートに貼っていて、毎週の職員会議、朝礼で唱和しています。

- 2 計画の策定

	第三者評価結果
- 2 -(1) 中・長期的なビジョンと計画を明確にしている。	
- 2 -(1)- 中・長期計画を策定している。	a
- 2 -(1)- 中・長期計画を踏まえた事業計画を策定している。	a
- 2 -(2) 計画を適切に策定している。	
- 2 -(2)- 計画の策定を組織的に行っている。	a
- 2 -(2)- 計画を職員や利用者に周知している。	a

特記事項

長・中期計画書(作成21.4.1)は、園長・主任・副主任を中心に全職員の意見を取り入れながら策定されている。決定事項は、職員会議で伝達され、その議事録も確認した。また、ご父兄にも、『入園のしおり』『毎月の園だより』に記載し、分かり易く伝えている。

- 3 管理者の責任とリーダーシップ

	第三者評価結果
- 3 -(1) 管理者の責任を明確にしている。	
- 3 -(1)- 管理者自らの役割と責任を職員に対して表明している。	a
- 3 -(1)- 遵守すべき法令等を正しく理解するための取組を行っている。	a
- 3 -(2) 管理者のリーダーシップを発揮している。	
- 3 -(2)- 質の向上に意欲を持ちその取組に指導力を発揮している。	a
- 3 -(2)- 経営や業務の効率化と改善に向けた取組に指導力を発揮している。	a

特記事項

管理者の責任・権限 及び 役割分担を『職務分掌』、『組織図』等に記載し、会議等にて職員に伝え、いつでも誰でも閲覧できる。また、一覧表にまとめられた遵守すべき法令等も確認しました。

芦屋市にある法人本部で収集・分析された経営データを基に、経営・効率面での取組みも主任・副主任を中心に実施しています。

評価対象 組織の運営管理

- 1 経営状況の把握

		第三者評価結果
- 1 -(1) 経営環境の変化等に適切に対応している。		
- 1 -(1)-	事業経営をとりまく環境を的確に把握している。	a
- 1 -(1)-	経営状況を分析して改善すべき課題を発見する取組を行っている。	a
- 1 -(1)-	外部監査等を実施している。	a

特記事項

姫路市役所作成資料、及び 法人内の園長会の内部資料を確認し、経営環境を的確に捉えている事を確認した。また、平成20年度 自主監査実施報告書（20.3.28作成 K公認会計士事務所による外部監査）を確認。

- 2 人材の確保・養成

		第三者評価結果
- 2 -(1) 人事管理の体制を整備している。		
- 2 -(1)-	必要な人材に関する具体的なプランを確立している。	a
- 2 -(1)-	人事考課は客観的な基準に基づいて行っている。	a
- 2 -(2) 職員の就業状況に配慮している。		
- 2 -(2)-	職員の就業状況や意向を把握し必要があれば改善する仕組みを構築している。	a
- 2 -(2)-	福利厚生事業に積極的に取り組んでいる。	a
- 2 -(3) 職員の質の向上に向けた体制を確立している。		
- 2 -(3)-	職員の教育・研修に関する基本姿勢を明示している。	a
- 2 -(3)-	個別の職員に対して組織としての教育・研修計画を策定し、計画に基づいて具体的な取組を行っている。	a
- 2 -(3)-	定期的に個別の教育・研修計画の評価・見直しを行っている。	a
- 2 -(4) 実習生の受け入れを適切に行っている。		
- 2 -(4)-	実習生の受け入れに対する基本的な姿勢を明確にし体制を整備している。	a
- 2 -(4)-	実習生の育成について積極的な取組を行っている。	a

特記事項

人事制度運用マニュアル、考課要領（共通要素評価表、専門要素評価表）面談記録等を確認し、本人にフィードバックされる仕組みが機能していた。また、「年次有給休暇職員別管理台帳」にて就業状況を確認した。平成21年度は、9名の実習生を受け入れており、保育実習承諾書、実習生受け入れマニュアル等に基づいた受け入れ態勢を確認しました。

- 3 安全管理

	第三者評価結果
- 3 -(1) 利用者の安全を確保するための取組を行っている。	
- 3 -(1)- 緊急時（事故、感染症の発生時など）の対応など利用者の安全確保のための体制を整備し機能している。	a
- 3 -(1)- 利用者の安全確保のためにリスクを把握し対策を実行している。	a

特記事項

『感染症対応マニュアル』を使用した教育記録を確認。また、毎月、災害を想定した避難訓練が実施されていることを、写真、記録で確認しました。

- 4 地域との交流と連携

	第三者評価結果
- 4 -(1) 地域との関係を適切に確保している。	
- 4 -(1)- 利用者地域とのかわりを大切にしている。	a
- 4 -(1)- 事業所が有する機能を地域に還元している。	a
- 4 -(1)- ボランティア受け入れに対する基本姿勢を明確にし体制を確立している。	a
- 4 -(2) 関係機関との連携を確保している。	
- 4 -(2)- 必要な社会資源を明確にしている。	a
- 4 -(2)- 関係機関等との連携を適切に行っている。	a
- 4 -(3) 地域の福祉向上のための取組を行っている。	
- 4 -(3)- 地域の福祉ニーズを把握し、事業・活動を行っている。	a

特記事項

姫路城の夏の恒例行事、「お夏清十郎まつり」にも毎年、参加（第62回、2010年8月9日（月）実施）しています。

N小学校との連携も活発で、8/29（土）9/7（月）お楽しみ会、オープンスクールに参加、近々2月下旬にも参加する予定。

また、卒園生との繋がりも重視しており、20歳（ハタチ）会（11/29実施済14名参加）を毎年実施しています。

評価対象 適切な福祉サービスの実施

- 1 利用者本位の福祉サービス

	第三者評価結果
- 1 -(1) 利用者を尊重する姿勢を明示している。	
- 1 -(1)- 利用者を尊重したサービス提供について共通の理解をもつための取組を行っている。	a
- 1 -(1)- 利用者のプライバシー保護に関する規程・マニュアル等を整備している。	a
- 1 -(2) 利用者満足の向上に努めている。	
- 1 -(2)- 利用者の意向の把握と満足の向上への活用に取り組んでいる。	a
- 1 -(3) 利用者が意見等を述べやすい体制を確保している。	
- 1 -(3)- 利用者が相談や意見を述べやすい環境を整備している。	a
- 1 -(3)- 苦情解決の仕組みを確立し十分に周知・機能している。	a
- 1 -(3)- 利用者からの意見等に対して迅速に対応している。	a

特記事項

『プライバシー保護マニュアル(羞恥心に配慮)』、『苦情解決マニュアル』、『ねこさんポスト(ご意見箱)』、相談員・複数の第三者委員等の役割・分担等を確認した。従来より、行事開催ごとに「アンケート」を実施していますが、今回、第三者評価の受審にあたり、兵庫県の規定ルールにはないが、評価機関の独自ルールにて保護者アンケート(実施期間 12月)を実施し、その結果、食に関する満足度(ほぼ 100%)が特に高い事が分かりました。

- 2 サービスの質の確保

	第三者評価結果
- 2 -(1) 質の向上に向けた取組を組織的に行っている。	
- 2 -(1)- サービス内容について定期的に評価を行う体制を整備している。	a
- 2 -(1)- 評価の結果に基づき組織として取り組むべき課題を明確にしている。	a
- 2 -(1)- 課題に対する改善策・改善計画を立て実施している。	a
- 2 -(2) 個々のサービスの標準的な実施方法を確立している。	
- 2 -(2)- 個々のサービスについて標準的な実施方法を文書化しサービスを提供している。	a
- 2 -(2)- 標準的な実施方法について見直しをする仕組みを確立している。	a
- 2 -(3) サービス実施の記録を適切に行っている。	
- 2 -(3)- 利用者に関するサービス実施状況の記録を適切に行っている。	a
- 2 -(3)- 利用者に関する記録の管理体制を確立している。	a
- 2 -(3)- 利用者の状況等に関する情報を職員間で共有化している。	a

特記事項

福祉サービス第三者評価制度を積極的に取り入れ、3年のサイクルで、評価機関による評価 法人本部、又は 他園の園長・主任による評価 園内の他の保育士による評価を計画されています。また、基準を深く理解しようと、大阪府主催の5日間の評価者研修にも、毎年、参加されています。職員間の情報共有は、毎月定期的職員会議、連絡会議、横断的な会議（栄養士会議、男性保育士会議等）の場で積極的に実施しています。

- 3 サービスの開始・継続

	第三者評価結果
- 3 -(1) サービス提供の開始を適切に行っている。	
- 3 -(1)- 利用希望者に対してサービス選択に必要な情報を提供している。	a
- 3 -(1)- サービスの開始にあたり利用者等に説明し同意を得ている。	a
- 3 -(2) サービスの継続性に配慮した対応が行われている。	
- 3 -(2)- 事業所の変更や家庭への移行などにあたりサービスの継続性に配慮した対応を行っている。	a

特記事項

保育サービスの情報提供に関しては自主的に市役所等へ働きかけパンフレットをおいてもらっています。
見学希望は積極的に受け入れ、また週1回の園庭開放を実施し、随時見学希望に対応しています。
園の説明内容はどの職員が対応しても説明内容に違いがでないように、事前に説明が必要な事項を職員間で共有しています。
卒園児に対しては卒園後も主任や担当保育士が相談等には対応し、継続して交流の場を設けています。

- 4 サービス実施計画の策定

		第三者評価結果
- 4 -(1) 利用者のアセスメントを行っている。		
- 4 -(1)-	定められた手順に従ってアセスメントを行っている。	a
- 4 -(1)-	利用者の課題を個別のサービス場面ごとに明示している。	a
- 4 -(2) 利用者に対するサービス実施計画を策定している。		
- 4 -(2)-	サービス実施計画を適切に策定している。	a
- 4 -(2)-	定期的にサービス実施計画の評価・見直しを行っている。	a

特記事項

担当保育士が中心となり、園内では週1回、計画見直しの場を設けています。
園長・主任が責任をもって実施計画の内容を確認しています。
サービスの実施計画は達成したものの未達成の内容を記号で見やすく表示し、次の計画に活用する取り組みをしています。

評価対象 実施する福祉サービスの内容

- 1 子どもの発達援助

	第三者評価結果
- 1 -(1) 発達援助の基本	
- 1 -(1)- 保育計画が、保育の基本方針に基づき、さらに地域の実態や保護者の意向等を考慮して作成している。	a
- 1 -(1)- 指導計画の評価を定期的に行い、その結果に基づき、指導計画を改定している。	a
- 1 -(2) 健康管理・食事	
- 1 -(2)- 登所時や保育中の子どもの健康管理は、マニュアルなどがあり子ども一人ひとりの健康状態に応じて実施している。	a
- 1 -(2)- 健康診断の結果について、保護者や職員に伝達し、それを保育に反映させている。	a
- 1 -(2)- 歯科健診の結果について、保護者や職員に伝達し、それを保育に反映している。	a
- 1 -(2)- 感染症発生時に対応できるマニュアルがあり、発生状況を保護者、全職員に通知している。	a
- 1 -(2)- 食事を楽しむことができる工夫をしている。	a
- 1 -(2)- 子どもの喫食状況を把握するなどして、献立の作成・調理の工夫に活かしている。	a
- 1 -(2)- 子どもの食生活を充実させるために、家庭と連携している。	a
- 1 -(2)- アレルギー疾患をもつ子どもに対し、専門医からの指示を得て、適切な対応を行っている。	a
- 1 -(3) 保育環境	
- 1 -(3)- 子どもが心地よく過ごすことのできる環境を整備している。	a
- 1 -(3)- 生活の場に相応しい環境とする取組を行っている。	a
- 1 -(4) 保育内容	
- 1 -(4)- 子ども一人ひとりへの理解を深め、受容しようと努めている。	a
- 1 -(4)- 基本的な生活習慣や生理現象に関しては、一人ひとりの子どもの状況に応じて対応している。	a
- 1 -(4)- 子どもが自発的に活動できる環境を整備している。	a
- 1 -(4)- 身近な自然や社会とかかわれるような取組を行っている。	a
- 1 -(4)- さまざまな表現活動が体験できるように配慮している。	a
- 1 -(4)- 遊びや生活を通して人間関係が育つよう配慮している。	a
- 1 -(4)- 子どもの人権に十分配慮するとともに、文化の違いを認め、互いに尊重する心を育てるよう配慮している。	a
- 1 -(4)- 性差への先入観による固定的な観念や役割分業意識を植え付けないよう配慮している。	a
- 1 -(4)- 乳児保育のための環境を整備し、保育の内容や方法に配慮している。	a
- 1 -(4)- 長時間にわたる保育のための環境が整備され、保育の内容や方法に配慮している。	a
- 1 -(4)- 障害児保育のための環境を整備し、保育の内容や方法に配慮している。	a

指導計画の評価に関しては、月案に ・ ・ × を記入し、視覚的に進捗を確認できるようにしています。その結果を翌月の月案に生かし、PDCAを実践しています。

降園時に必ず、その日も子どもの健康状態を伝えています。

感染症に関しては法人内の看護師会においてマニュアルを整備し、職員に対する研修を実施しています。感染症の予防・発症に関しては園内の掲示板やほけんだより等、複数の方法で周知しています。

給食時には必ず栄養士が子どもと同席し、子どもの喫食状態や嗜好を確認しています。給食やおやつに関しては食事環境、献立、調理方法、味付け等に工夫をこらしており、ほとんどの子どもが食事を残さず、また食事を楽しんでいます。

また食事の際、3歳児までは保育士の声かけのもと食べ始めますが、4歳児からは子どもたちの主体性・自主性を育てるためにこどもたちに給食の開始、ごちそうさまのタイミングを任せるといった、成長段階にあわせた指導をしています。

食物アレルギーがある子どもに対しては誤食がないように、職員間で二重チェックの体制をとっています。

遊具の使用に際しては安全性確保のため、使用前に毎回責任者を決め、子どもたちと一緒に点検・消毒しています。またチェックシートを作成し、点検忘れがないように工夫して取り組んでいます。

障害児保育については専門機関と連携し、専門知識を取り入れ保育に生かしています。

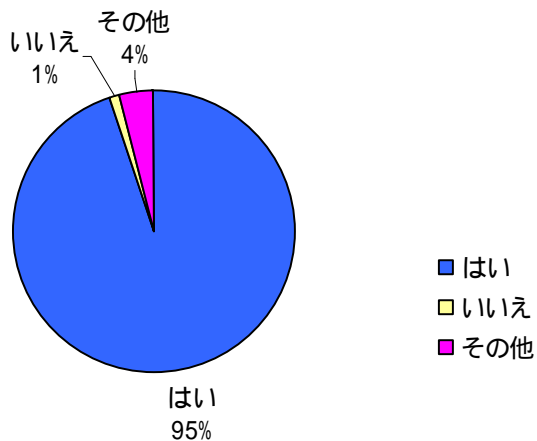
2009年12月に実施したご父兄アンケートで食に関する下記の2項目で100%の満足度を示しました

献立表やサンプル表示などで、毎日の給食の内容がわかるようになっていませんか？

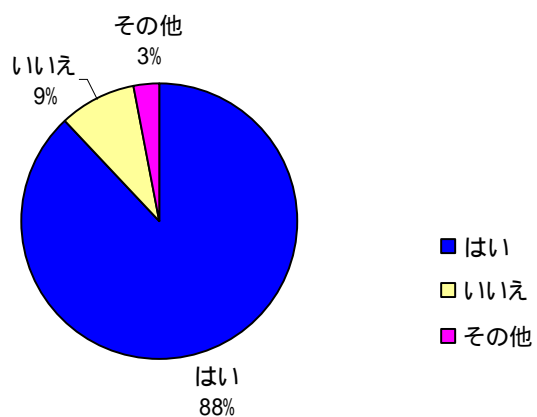
給食のメニューは、充実していますか？

(今回実施したアンケート結果の一部抜粋)

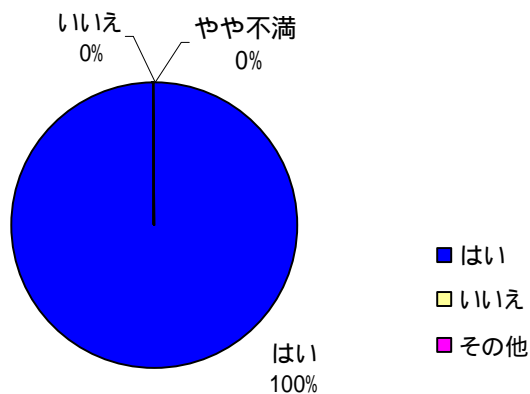
9.園ないでの感染症が発生した際には、その状況について必要に応じて連絡がありますか？



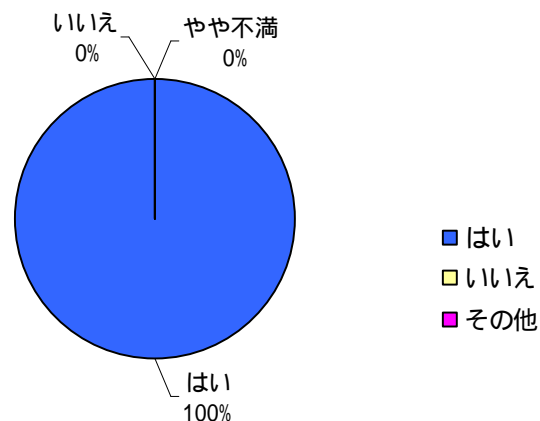
10.健康診断の結果について、内科・歯科・外科・眼科・尿検査ご異常が診られたときなど、園から伝えられていますか？



11.献立表やサンプル表示などで、毎日の給食の内容がわかるようになっていますか？



12.給食のメニューは、充実していますか？



- 2 子育て支援

	第三者評価結果
- 2 -(1) 入所児童の保護者等への育児支援	
- 2 -(1)- 一人ひとりの保護者と日常的な情報交換に加え、個別面談などを行っている。	a
- 2 -(1)- 家庭の状況や保護者との情報交換の内容を必要に応じて記録している。	a
- 2 -(1)- 子どもの発達や育児などについて、懇談会などの話し合いの場に加えて、保護者と共通理解を得るための機会を設けている。	a
- 2 -(1)- 虐待を受けていると疑われる子どもの早期発見に努め、得られた情報が速やかに所長まで届く体制になっている。	a
- 2 -(1)- 虐待を受けていると疑われる子どもの保護者への対応について、児童相談所などの関係機関に照会、通告を行う体制が整っている。	a
- 2 -(1)- 一時保育は、一人ひとりの子どもの心身の状態を考慮し、通常保育との関連を配慮しながら行っている。	a

特記事項

<p>保護者との面談に加え、個別に連携が必要な保護者に対しては連絡ノートを作成し、密な情報交換を実施しています。</p> <p>保護者との情報交換に関しては法人全体で記録用様式を定め、職員によって情報にかたより、バラつきが生じないように工夫しています。</p> <p>保護者と保育に関する共通理解を得るため、保育参加、全体懇談会、個人懇談会を実施しています。</p> <p>一時保育児童の保護者とも、登降園時の情報交換を積極的に実施しています。</p> <p>虐待に関するマニュアルを整備し、子どもの様子に疑問等がある場合は即座に職員間で情報交換する体制を整備しています。</p>
--

- 3 安全・事故防止

	第三者評価結果
- 3 -(1) 安全・事故防止	
- 3 -(1)- 調理場、水周りなどの衛生管理は、マニュアルに基づいて適切に実施している。	a
- 3 -(1)- 食中毒の発生時に対応できるマニュアルがあり、さらにその対応方法については、全職員にも周知している。	a
- 3 -(1)- 事故防止のためのチェックリスト等があり、事故防止に向けた具体的な取組を行っている。	a
- 3 -(1)- 事故や災害の発生時に対応できるマニュアルがあり、全職員に周知している。	a
- 3 -(1)- 不審者の侵入時などに対応できるマニュアルがあり、全職員に周知している。	a

特記事項

保育室全室に空気洗浄器を設置しました。園児のかぜ感染予防に効果を発揮しています。